



あやめ



文責：生徒指導主事 川崎幸司

快晴のもと、沿道の応援を受け「強歩大会」が行われました！

11月14日(火)に強歩大会が行われました。深まる秋に、朝晩の寒さを感じられるようになった頃合いでしたが、当日は晴天に恵まれ、強歩大会を行うには最高に近いコンディションでした。

開会式では、校長先生から

「・各自の目標に向かって頑張ること

・(その上で)頑張っているからこそそのやめる勇気をもつこと」とのお話をいただき、

また三井PTA会長からは、

「ゴールしたときの自分を想像して」と励ましていただきました。

選手宣誓では3年生の土生都さん・横内さんが「感謝の気持ちをもって走りきる」決意を誓ってくれました。

陸上競技場がスタート・ゴール地点。開会式の後に各クラスでそれぞれアップをしたのち、8時50分に全校一斉にスタート。約17kmのコースをそれぞれのペースで走り出しました。お手伝いいただいた保護者の方々を中心に、沿道からのたくさんの応援を受けながら、みんな真剣に走っていました。

これまで体育の授業や学年ごとの朝練習で持久走の取り組みを行い、当日を迎えました。1年生にとっては、初めての17kmへの挑戦ということになりました。コースはアップ・ダウンがあり、かなりキツイと感じる生徒が多かったのではないかと思います。2年生は、2回目ということや部活動で体力的に力もついてきていることから、自分の走りができた生徒もたく

さんいたのではないのでしょうか。3年生にとっては、「最後」の強歩大会ということで、3年間の自分を振り返りながら、走ることができたことでしょう。

誰にとっても長い距離を走るということは、肉体的にも精神的にも大変苦しいことだと思います。辛くて途中で立ち止まりたいと思ったことや、「何でこんなに長い距離を走らなければならないのか」と思った生徒もいたかもしれません。長い距離を走るとは、よく「人生」に似ていると言われます。まさに人生は山あり谷ありで、良いときもあれば、悪いときもある。当然、自分に負けそうになるときもあります。そんな時、自分と闘いながら、前を向いて一歩ずつ進んでいけるような「強い心」が、この「強歩大会」には求められているのではないのでしょうか。長い人生の中で、困難に直面した時にも、弱い心に負けることなく、あきらめずに最後まで頑張ることの大切さを、この「強歩大会」から体得して欲しいと思います。

保護者の皆様には、今回も多くの方々に「協力員」として、生徒の安全確保をしていただくとともに、あたたかい声援をしていただき、誠にありがとうございました。生徒たちにとっても大きな励みになりました。

また、今回も南アルプス警察署の方々や交通安全協会の方々のご協力、ご指導のおかげで、大きなケガや事故等がなく、無事に強歩大会を終えることができました。今後も保護者の皆様、地域の方々には、櫛形中学校の教育活動にご理解とご支援、ご協力をお願いします。



R5. 11. 14 強歩大会の様子



みんな、いい汗を流しました